

## 自衛防疫強化対策支援事業の実施について ～畜産経営の向上及び安全な畜産物の生産への新しい試み～

(社)岡山県畜産協会家畜衛生部

### 1. はじめに

この事業は、社会・産業構造の多様化・広域化を背景に家畜伝染性疾病の発生についても複雑化する中で、ウイルスや病原細菌など感染源の分布や浸潤状況など衛生情報を的確に分析しながら、生産農家の自衛意識を高め、家畜疾病による生産性の低下を未然に防止するため平成23年度から新たに、実施するものです。

### 2. 事業の実施

実施については岡山県（家畜保健衛生所等）、岡山県農業共済組合連合会、おかやま酪農業協同組合、全国農業協同組合連合会岡山県本部等の協力を得て経費については協会が負担することとしています。

### 3. 事業の内容と補助等

#### 1) 衛生情報検討会の開催

近県や隣接国における家畜伝染病の発生状況などの家畜衛生情報をもとに、岡山県内の家畜衛生指導、病性鑑定、診療機関で検討会議を開催し専門的な立場からの意見を集約して具体的な防疫措置や活動内容を決定し、関係者意識の統一と生産農家の自衛防疫意識向上につなぎます。

#### 2) 適切な予防ワクチン接種の促進

地域における感染源の浸潤状況及び県外の疫学的関連地域や農場の疾病発生状況を踏まえて、万一感染した場合、農家経営のみならず安全な畜産物供給や地域経済まで影響が及ぶ疾病の発生を防止するため、畜産協会の呼びかけに応じて予防ワクチンの接種を実施した農家に対して費用の一部を補助します。

県下のワクチン接種率の向上を図り、伝染性疾病の免疫力強化に努め、防疫強化を支援する。なお、補助の対象とする疾病は検討会議や専門家の意見を踏まえてその都度定めることとし、本年度は下表のとおりです。

補助対象ワクチン名	補助金額／頭	対象家畜と主な症状
①牛コロナワクチン	50円	発熱乳量減
②牛ヘモフィルスワクチン	50円	発熱肺炎致死率高い
③牛ボツリヌスワクチン	50円	中毒症致死率高い
④豚サーコワクチン	30円	不良豚発生率の改善

#### 3) 海外悪性伝染病防疫体制強化支援

口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザなど、発生すると畜産のみならず地域経済への甚大な被害が想定される海外悪性伝染病の防疫活動への取り組み支援を行います。

##### ①高病原性鳥インフルエンザ防疫研修会の開催（各家保単位）

- ・防鳥ネット整備の実演講習等

②効率的な消毒方法の講習会の開催

#### 4) 飼養衛生管理強化推進支援事業

今日、食品の安全を守り、消費者の信頼を得るためには生産者自らの生産物及び生産過程の安全証明（保証）が強く求められております。

畜産協会では生産物の安全確保と作業の効率化、衛生管理の徹底化と併せて、経営管理の改善強化を目指して農場 HACCP 実証農家の実現に向けて支援します。

①モデル農家の HACCP 適応指導

②農場 HACCP 推進農場の指定や農場 HACCP 認定登録の取得支援を行います。

自衛防疫強化対策支援事業の具体的な内容等については(社)岡山県畜産協会各支部又は家畜衛生部へ問い合わせ願います。(家畜衛生部 086-232-8442)
--